

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R6-14号)

令和6年10月28日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和6年10月24, 25日に伊勢湾・三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

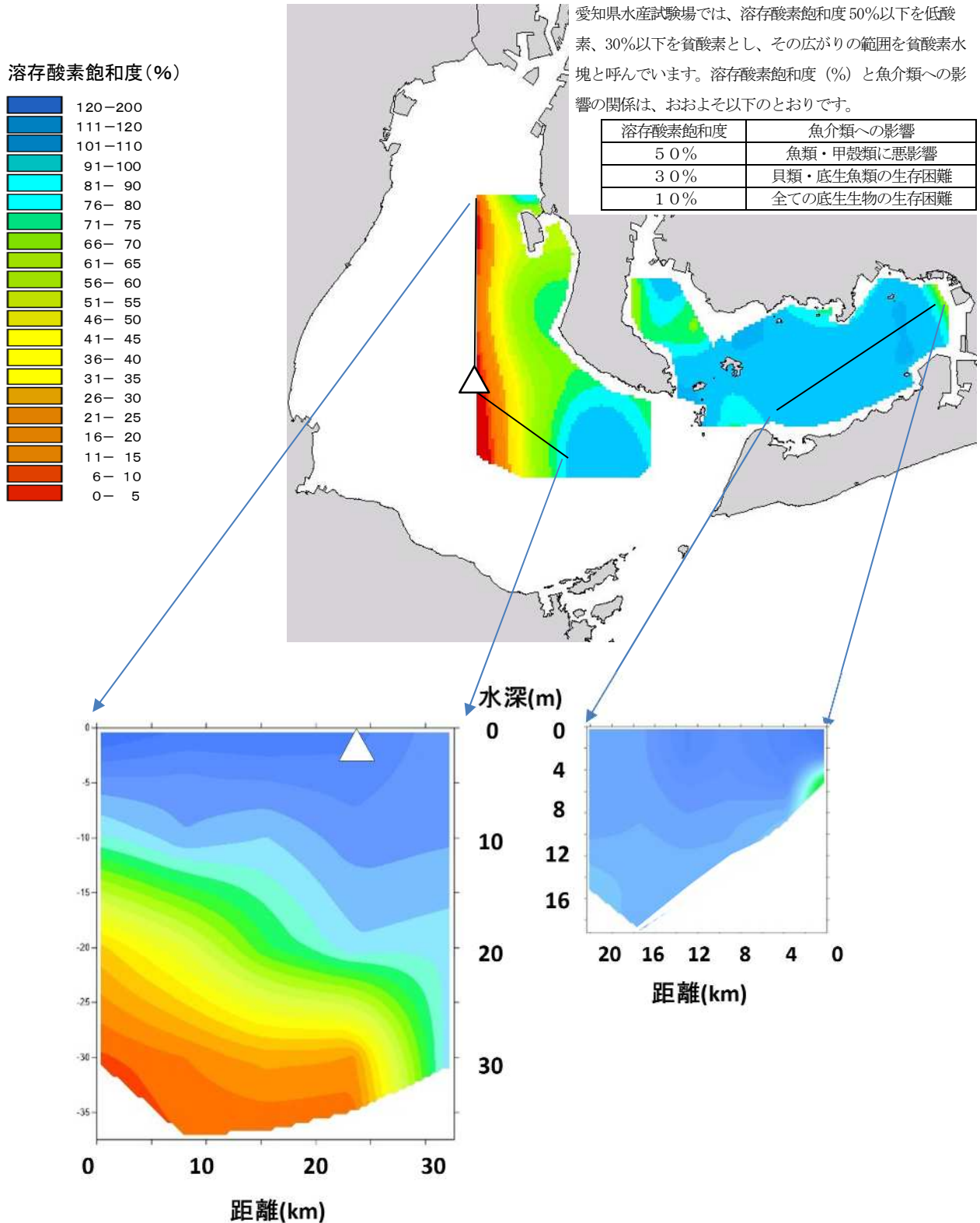


図1 伊勢湾(10月25日)、三河湾(10月24日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

10月25日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾の湾央部に貧酸素水塊が確認されました。10月1日調査(図2)と比べると、溶存酸素飽和度30%以下の範囲は拡大していました。表底層間の水温・塩分の差は小さくなっており、今後は、水温の低下に伴い海水の上下混合が進み、貧酸素は解消すると考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)		塩分	
表層	22.7	~ 23.5	25.3	~ 30.7
底層	22.6	~ 24.3	28.9	~ 33.5

三河湾

10月24日の調査結果を図1に示しました。三河湾では貧酸素水塊は確認されませんでした。表底層間の水温・塩分の差がほぼ無くなっており、今後は、躍層は発達せず、貧酸素水塊も形成されないと考えられます。

今年度の三河湾の貧酸素情報については今回で終了します。

表3 調査時の水温・塩分

	水温(°C)		塩分	
表層	22.4	~ 24.2	29.1	~ 31.3
底層	22.7	~ 24.0	30.4	~ 31.9

参 考

前回調査時の三河湾底層の溶存酸素状況

溶存酸素飽和度(%)

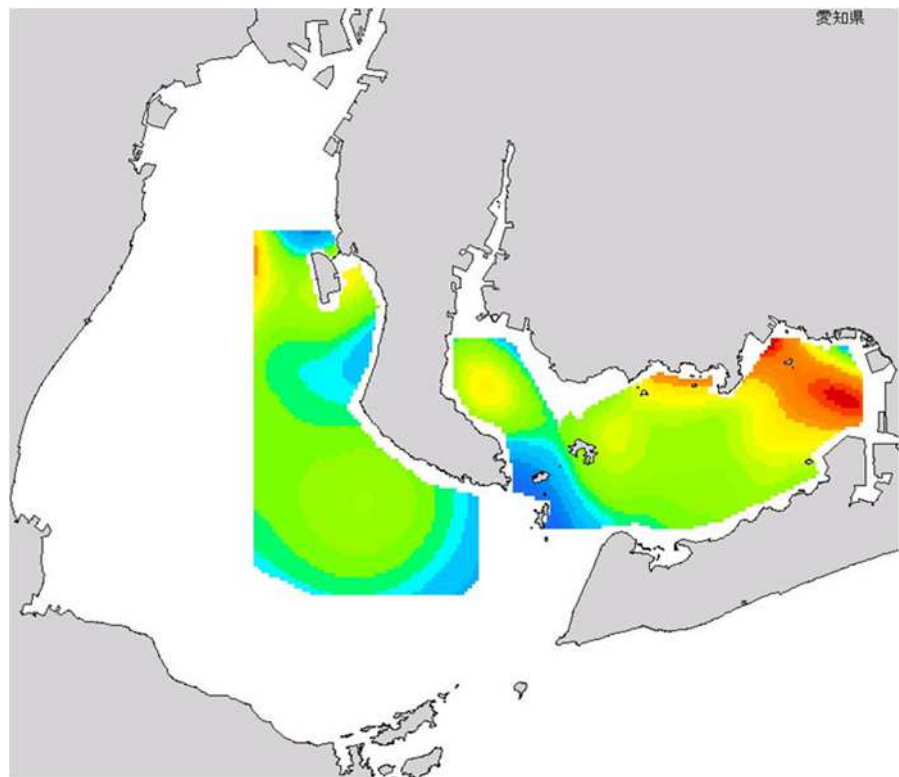
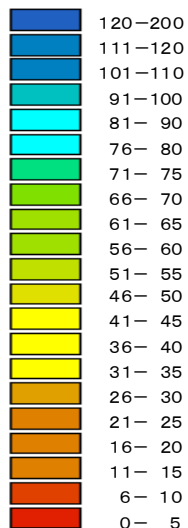


図2 令和6年10月1日(伊勢湾)、10月2,3日(三河湾)